

茅ヶ崎市立鶴が台中学校

鶴が

若き心 集まるところ



令和2年1月 校長 伊藤 盛人

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

大晦日から三が日にかけて、暖かな晴天に恵まれ、こんなお正月は近年の記憶にないほど穏やかでした。世界に目を向けると、少し心配な事件もありますが、皆様のご家庭ではいかがでしたか？

本校ではお陰様で大きなトラブルはなく、静かに落ち着いた新年を迎えることができ、大変うれしく思っています。

本年も昨年同様、よろしくお願いいたします。



来春のステージへ向けて 学校は動き始めています

○3年生は早くも進路に向けて本番です

冬休み終了と間もなく3年生は、10日（金）から期末テスト一週間前に入ります。17日（金）には中学校最後のテストが実施され、いよいよ私立高校の推薦試験出願が始まります。その後、一般私立出願と続き、今月末29日（水）には、公立高校共通選抜の出願が行われます。3年生には息がつけな日々が続きます。ご家庭でも是非、学校と緊密に連絡を取り合って、情報の確認をお願いします。

○校長面接 7割の生徒が終了しました

昨年11月15日（金）より始まった校長面接（3年生）もこれまで85名の生徒が終了しました。生徒のほとんどが志望校を決定し、目標にむけて心一つにしています。そんな三年生の一人ひとりと向きあえるこの機会を私は毎年、楽しみにしています。受検（験）生全員にエールを送っています。

○新1年生を迎える準備も始まります

3年生の進路、卒業の準備と並行して、今春4月に本校に入学する1年生のための準備もスタートしています。ただいま、新1年生を迎える為に全校をあげて全力で準備を進めています。説明会は以下の通りです。

新入生保護者説明会 1月14日（火）

中学校説明会（生徒会主催）1月24日（金）

台中のよき伝統を伝えていくためにもしっかりと新1年生を迎え入れられるよう準備していきます。



「ルールと自由」について

昨年、12月11日（水）聖徳大学大学院の吉本恒幸先生をお招きして道徳の研究授業を実施しました。当日、1年生の協力を得て行った研究授業は、本校の道徳の基盤を確立させる大きな成果をあげることができました。授業内容は「自由とルール」についてでした。1年生の皆さんには議論を進めながら各自の考えを深められた授業となりました。

さて、これから皆さんにお話するのはテレビ番組「徹子の部屋」の一部です。

あるベテラン俳優が今は亡き名優嵐寛寿郎さんとの思い出を語りました。

「往年の大スター嵐寛寿郎さんは芸にとっても厳しい方でした。そして、自分にも他人にも厳しい方でした。特にルールについては人一倍厳しい方でした。

私は若いころ、一度だけロケの集合時間に遅刻し、こっぴどく叱られた経験があります。

嵐さんは、ロケの集合時間が8時30分だとすると、いつも90分前の7時にロケ入りしていました。彼はロケ入りするとすぐにメイクを行い、衣装を合わせ、台本を読み返しすべての準備を整えて8時30分を待つのです。その日、私は約束の時間に10分遅れ、8時40分にロケ入りしてしまいました。嵐さんはその時、烈火のごとく私を叱りました。嵐さんは次のように教えてくださりました。

～ 全校集会の挨拶から～

『集合の8時30分とは、俳優はもちろん、関わるスタッフ全員がすべての準備を整え、撮影がスタートする時間です。あなたの遅刻はたった10分と思うかもしれませんが、あなたの遅刻がここにいる人のすべての自由を奪うのです』

確かに私の遅刻の10分は嵐さんにとっては90分プラス10分で100分になり、メイクさんや衣装担当する人には120分であり、130分になるのです。

嵐さんは我々俳優仲間から尊敬されていたのはもちろん、スタッフの皆さんからも尊敬されていました。私は今でも『人生の師』として尊敬してやみません」

さて、本日からいよいよ学校生活が始まります。お年玉をもらい、おいしいものをいっぱい食べ、正月休みを満喫した人も多かったかと思えます。

中には、ルールがある学校生活に戻ることに不安を感じている人もいるでしょう。ルールあってこそ集団生活の「自由」が守られることを念頭において、学校生活を大いに楽しみ、大いに学んでください。

フレイフレー台中

部活動名および氏名	大会、コンクール名	結果および受賞者氏名
剣道	荒井杯剣道大会	団体男子 第3位
ソフトテニス	地区1年生研修大会	団体女子 第3位
国語科	ゴミゼロクリーン標語 歯科保健啓発標語審査会	優秀賞 前田優 入選 川崎美優・小山朋・峰尾美羽 星哲央
	緑化・育樹コンクール	最優秀賞 高辻歩
美術科	児童生徒ポスター展 明るい選挙啓発ポスター展 ゴミクリーンポスター 読書週間ポスター	金賞 池野璃愛来 優秀賞 飯島心愛 最優秀賞 前咲希 佳作 岩崎小春・薛濱瑤・辰村華 加藤愛里